

北陸鉄道線維持同盟会書簡

時下向暖之砌（じかこうだんのみぎり・・暖かさに向かう今日このごろ）
愈々（いよいよ）御清寧奉恭賀候（ごせいねいきょうがたてまつりそうろう
・・穏やかにお過ごしのことお喜びお祝い申し上げます）。

陳者（さて）、今回議員総選挙の結果、尊下（そんか・・貴殿）が大多数を
以て芽出度（めでたく）御当選の御光栄を得られたるは、実に平素徳望（徳が
高く尊敬されている）然らしむ処（しからしむところ・・であるから当然）に
して、国家の為め遙かに（はるかに・・遠くから）奉欣賀候（きんがたて
まつりそうろう・・お喜びお祝い申し上げます）。尚将来公共の為一層の
御配慮奉煩度候（ごはいりょひんどたてまつりそうろう・・幾重にもご配慮賜
る事お願い申し上げます）。

扱（さて）今日某等（それがし等）が唐突にも尊下に向かつて此の書面を呈
する（差し出す）所以（ゆえん・・理由）の要旨は、実に国家上某等が黙過
（もっか・・黙って見過ごせない）す可らざる（すべからざる）哀情（憂い悲
しみ）を尊下に訴え、某等が正義のある所を述べ、以て他日帝国議会の開けた
る節は、某等が哀願する一片の事情を翼賛（賛同）せられんことを乞う（願
義に御座候（ごぞそうろう））。

依而（よって）先ず其の事情の大略（たいりやく・・おおよそ）を左に開陳
可仕候（かいちんつかまつりそう・・言上します）。彼（か）の第三帝国議
会に於いて鉄道敷設法案議定（ぎじょう・・評議）の後（あと）、予算委員が其
工事を査定するに当たり、政府説明委員の松本工学博士は予定路線の精密な
地図を示され、其の北陸線は針路（コース）に於いて委員は挙げて此図の正確
なることに賛（賛成）せられ、而して（しかしして・・それから）鉄道委員長
の神鞭知常（こうむちともつね）氏は其の審査の結果を衆議員に報告するに当
たり、北陸鉄道線路中、越前森田より加州大聖寺に至る線路は大いに政府
予定図の正確さを説き、三国町に迂回する必要は軍事上に於いても経済上に
於いても決して利ならざるを縷々（るる・・ことこまかに）説明に及ばれ全員
挙げて此れに賛同可決せしにも拘（かか）はず、本年1月17日逋信省内
鉄道会議に於いて俄かに（にわか）に此の森田大聖寺線路再調査の件を發議
決したる者有之（者此れ有り）

是の發議の要旨たる、乃ち（すなわち）越前森田村より北進金津町を通過
して、一直線大聖寺に達せんとする議会既決の確定線を変更して、森田より

日本海岸に拠る（ある・・を拠点とする）三国町に迂回し、以て大聖寺に達せんとする義に御座候、由て（よりにて）其の際川上議長・谷將軍始め陸海軍選出の議員各位は絶対的大反対されたるも、如何なる（いかなる）事情か出席議員貳拾九名（29）の処九名に対する拾壹名（11名）の賛成、乃ち僅かに壹名（1名？2名）の多数に制せられ再調査となりたる由に漏れ聞き申候。

某等は右の議決に付、既決線の至当（しとう・・当然）なるや迂回線の至当なるやは早晚再調査の暁に於いて判明す可（べき）を以て、敢て此の鉄道會議議決の彼此（あれこれ）を論す可きに非（あら）ざるも、近来（きんらい・・近頃）の風説によれば實に一小部落（三国を指す）の人民らが陰險手段を以て立憲政体の今日（憲法によって権力者の横暴を制限しようとする政治制度の今日）には有る間敷き（あるまじき）醜惡な運動上より斯かる（かかる）議決の及びたる由を聞き及び候、此の風説たる敢えて充分の信を措（お）くに足らず（敢えて信用に足るとは言わぬが）、亦（また）敢えて天下に警告することを好まずと雖（いえども）も（敢えて世間に公表することは避けるが）苟しくも（いやしくも）国家公共の事業たる鉄道を一小部落の人民に自由に異動させられるに至っては實に恬然黙視す可らざる（てんぜんもくしすべからざる・・平然と黙認するべからず）ことと被信候（信じそうろう）

『・・たる鉄道を一小部落の人民に自由に異動させられるに至っては實に恬然黙視す可らざることと被信候…』（この部分繰り返す）

茲を（これを）以て某等（それがし等）同感の者は至急表号（ひょうごう・・見出し）の如き同盟会を設け、徹頭徹尾正々堂々の運動を為し、第一着（第一の目的）に民間の輿論（世論）を求め候処、沿道地方の人民は農と商とに論なく（異論なく）某等が正義のある処を賛成致し候故、爰（ここ）に一同、會議長へは建議書（意見の申立書）を送呈し、又黒田逋信大臣へは請願書を捧呈（ほうてい）し、一方には某等が仰依する（たのみとする）貴衆兩院へ既決線維持の請願書を提出して、飽迄（あくまで）某等が誠意を貫徹することに決し、其の筋への二通は既に各地総代連書の上差出し了え（終え）しも、貴衆兩院は未だ成さざる今日に御座候故（ごさそうろうゆえ）、別紙の如く既に書面提出の準備相整えしも、未だ之を提出する運びに至ざる義に御座候。

何れ（いずれ）議會も早晚開かゝに相違無之（そういなきこと）と被察候間（察しそうろうあいだ）別紙請願書を提出し候間は何とぞ某等が微哀（びあい・・ささやかな哀心）を御洞察被下（くだされたく）、某等が願意（がんい・・願う心）の貫徹致す様（よう）、国家の為呉々も（くれぐれも）御尽力奉願上候（ごじんりょくねがいあげたてまつりそうろう）。別紙謄本は即ち貴衆兩院

へ提出いたす可き（べき）請願書にして御参考のため差上申候故、充分御熟覽（じっくりご覽）の上、宣敷（よろしく）御尽力の程、只管（ひたすら）御願申上候。

二伸（にしん・追伸）、別紙請願書にある通り、若し三国町へ迂回する如きに至れば、貴地方の人士（じんし・有力者。ここでは出資者）にも其の時間と賃錢に於いて永久の損害を被るのみならず、其の工事も大いに遅滞（ちたい・遅れ行き詰る）を来すことに御座候得ば、貴地方に於いても有志家諸君と御協議の上更に適當なる請願書提出呉々被下候（請願書提出くれぐれもよろしく候くだされば）幸甚不過之候（こうじんこれにすぎずそうろう・これに過ぎる幸せはございません）。

明治 27 年 3 月 20 日

福井県坂井郡金津町鉄道既定線期成同盟会

総代 坂野 深

外 二百三十九名

福井県第二区選出

衆議院議員

杉田 定一 殿